

本公債ハ廣東省内ニ於ケル、國省兩稅並其
附加稅全部ヲ以テ担保トス、

第六條本公債ハ年利四分トシ民國二十二年ヨリ
毎年五月一日附利息ヲ交付ス、

第七條本公債ハ二十一年五月一日ヨリ發行シ、券集
期限ヲ一ケ年トス、(註 予定ヲ變更シ四月十日發行セ)

第八條本公債ハ民國二十三年五月一日ヨリ元金ヲ返
還シ始メ、ニケ月毎ニ一回ノ抽籤ヲ行ヒ、三十回ニテ
全部償還ス、

第九條本公債ハ毎回抽籤ノ十日後元金ノ支拂
ヲ開始ス、受取期限ヲニケ年トシ、期日ヲ過クル
モ受取ラサルモノハ無効トス、

第十條本公債ハ廣東財政特派員公署ト廣

東財政廳、共同責任ヲ以テ募券集ス。

第二條本公債ノ抽籤・元金返済事務ハ財政特派員公署及財政廳ニテ公開辦理ス。

又廣東省銀行ハ元金支拂ノ責ヲ負フモノトス

第三條本公債ハ無記名式ナレハ、自由ニ賣買且自由ニ抵當トナス事ヲ得、又公務上納入スヘキ保証金・担保トナス事ヲ得。

第三條本公債ニ對シ、若シ、偽造及信用毀損ノ行為アリタルモノハ、法ニヨリ處罰ス。

第四條本條例ハ公佈ノ日ヨリ施行ス。

廣東省國防要塞債發賣保管元金返還辦法大綱

甲、發賣辦法

一、國省兩稅及各縣市地方諸稅請負會社ニ其ノ一ヶ月ノ稅額ニ相當スル額面ヲ割當ツ

ニ、全省各縣市各種商店ニハ其ノ營業稅或ハ營業鑑札稅ニ登錄セル資本金ノ百分之二ノ額面ヲ割當ツ

三、全省ノ市、鎮、埠区内各店舖住宅及碼頭貸借額ノ額面ヲ其ノ資本主ニ割當テ、廣州市、汕頭市ハ各其ノ一ヶ月分ヲ、其他ノ各市鎮、埠ハ其ノ半ヶ月分ヲ受持ツヘシ、本項ノ市鎮、埠トハ、廣州汕頭、江門、海口及各縣内ノ繁盛ナル地方ニ就キ之ヲ言フ

四、各縣市、富田ニ應シテ、割當ハ、各該地方長官責任ヲ以テ之ニ當ルヘシ、

五、各機關、商會、學校、公共團體ニハ、各其ノ分

ニ應シテ割當ツルモノトス、

六、海外華僑ニ向ヒ募券集ヲ行フ

乙、保管辦法

一、本公債賣上金額ハ、人民公共團體、省市黨部及政府ニテ、委員會ヲ組織シ、共同シテ保管及用途ノ監督ニ任ス、

右委員會ノ組織左ノ如シ、

教員會 二名 農會 二名 商會 二名 工會 二名
 辯護師會 一名 婦女會 一名 華僑團體 一名 會計會 一名

々

省市党部二名 政府三名 計 十七名

右ノ中ヨリ常務委員七名ヲ互選ス、

但シ、党政機關委員ハ其ノ三分ノ一ヲ超スル事ヲ得ス

ニ本公債ノ募集金額ハ、其ノ都度各募集

機關ヨリ委員會ニ拂込ミ查收保管セシメ、其

ノ金額ヲ十日ニ一回公佈セシム、

ニ受込ミタル金額ハ、委員會ノ名義ヨリ、本國

銀行ニ預金ス、

四、本公債ノ發行ハ元來國防要塞建設ノ爲メノ

モノナレハ、如何ナル理由モ、他ニ流用スルコトヲ得ス、

五、本公債所得ノ金ヲ、使用セムトスル時ハ、國防

要塞建設委員會ヨリ、保管委員會ニ對

シ、其ノ費途証明書ヲ呈出シ、保管委員會

常務委員過半数ノ署名ヲ俟ツテ之ヲ支出スルモノトス。

六 保管委員會ハ隨時國防要塞建設委員會ニ對シ、實況検査ヲナスコトヲ得

丙、用途

公債ノ用途ハ左記各項ニ限ル

- 一 砲壘、防禦工事ノ建設
- 二 要塞用武器彈藥ノ購入

丁、償還辦法

民國二十三年五月一日ヨリ毎回百萬元ヲ發給ス但シ、廣東省內國、省兩稅ニ百分ノ十、附

加税ヲ賦シテ得タルモノヲ以テ元利金償還ノ
 限度トス。右附加税ハ之ヲ他ニ流用スル事ヲ得ス
 前記國省税毎月ノ平均收入表ハ別ニ之ニ
 表示ス。

(終)

九七

副官

嵯峨情報第一

五月廿日進達
昭和七年七月



四月二十一日報告



軍務局

第一課長

國情。共匪

局員

嵯峨艦長

江西省西南方紅軍跳梁地域概況

軍務局受
7.5.12
月 日發

馬場
7.5.3
受接

本情報、目下江西省西南方ニ於テ剿共中ナル第一集團軍第一軍（余漢謀）部隊ニ從軍セル程鵬ナルモノノ寄稿トシテ、廣州民國日報（自四月十日）カ連載セル「赤區訪問記」ヲ譯出セルモノナリ。

該方面ノソウイエト政府組織共匪ノ情況、被虐地ノ情況、中央剿匪軍ノ情況等ノ一斑ヲ知ル定ルモノト認ム。

赤區訪問記

沿路五十餘里寂トシテ人烟無ク進ンテ龍廻墟ニ至ル。家
 屋ハ倒レ草木ハ枯レテ荒涼タル中ニ獨リ「林」姓外十數戸
 小屋殘存スルヲ見ル。此處ハ曾テ共匪カ第三區ソグイエト
 政府ヲ遣キ紅軍ヲ駐屯セシメタル處ニシテ墟ノ入口ニ「中華
 蘇維埃共和國臨時中央政府佈告」ナルモノアリ。之ニ依リ共匪
 ハ客年十一月七日江面ニ於テ全國ソグイエト代表大會ヲ開
 催シ所謂中央執行委員ヲ選舉シテ中央執行委員會ヲ組
 織シタルヲ知ル。而シテ同大會ニ於テ選出セラレタル執行委員
 八名ノ如シ。

執行委員兼執行委員會主席

毛澤東

執行委員

副主席

項英、張國燾

周恩來、盧福垣、朱德

賀秋白、鄧發、王稼青、徐錫

根、彭德懷、賀龍、夏曦、鄧

子恢、黃平、陳正人、韋拔

阮嘯仙、陳毅、張鼎丞、周以栗

何叔衡

右中央執行委員會、下二人民委員會ヲ組織シ所謂中華蘇維埃共和國中央行政機關ヲシテ同委員會、組織及委員ハ

人民委員會

主席

毛澤東

副主席

項英、張國燾

外交部人民委員

外交人民委員

王稼

軍事

朱德

勞動

項英(兼)

財政

鄧子恢

土地

張鼎丞

教育

賀秋白

內務

周以栗

司法

張國燾

工農檢察人民委員何叔衡

ニシテ更ニ人民委員會ノ下ニ國家政治保衛局ヲ置キ鄧發是カ

局長タリ

前記布告ハ右中央執行委員會及政府成立次第ヲ述ハタル上

三

西曆一九三一年十一月○○日ト記シ正副主席之署名居
ル其所謂中央政府、今ヤ「山窮水盡」之窮狀ニ在リ
茲ニ其致命傷トモ云ハキ點ヲ擧ケルハ次ノ如シ。

A. 財政ノ困窮

林「姓ノ家屋ニ於テ給得シ信豊、南康、南雄ノ第三
區ソビエト政府半ヶ月間ノ工作計画決議案中第
七項ノ財政問題ニ、

一、經費節減ノ要アルニ付

各分區政府ノ辦事員八十二名（委員長七名、傳令
三名、炊事夫二名）ヲ超過スルコトヲ得ス。
區政府辦事員八十六名（委員九名、秘書一名、傳令
三名、受付發送係一名、炊事夫二名）超過スルコトヲ得ス。

二食費ハ一日一名ニ付小洋十仙トス

分區政府ノ辦公費ハ月小洋六元ヲ超過スルコトヲ得ス

區政府ノ辦公費ハ月小洋十元ヲ超過セコトヲ得ス

トテル處此地ノ米價ハ一元ニ付十一斤乃至十二斤前後ナル故

ニ小洋十二仙位ニテハ辛ウシテ食ヒ得ルト云フ程度ニ過ギス

且事密員毎日十仙宛ヲ受領シ得ル政府職員及極メテ

少數正式紅軍ニ過キタルヲ以テ其他ノ多數ノモハ自ラ食ヲ掠

奪セサルヲ得ス。況シテ共匪ニ拉致シラレタル男女ノ如キハ一日

一回ノ粥ヲ供セラル、ニ過テカル密員情ナリ。(之ハ逮捕セラレタ共

匪ノ口述ニ依ル)

凡ソ共匪ハ或土地ニ到ラハ先ツ以テ民家ヨリ米穀ヲ沒收シテ

之ヲ政府ニ集中スルヲ常トスルカ老弱者ヲ除ク外壯丁農

民ハ或ハ殺サレ或ハ逃難シテ殆ント影ヲ見セス。

紅軍ハ所謂正式紅軍基本部隊ノ訓練、防守、攻略ニ當リ其他ハ何等役ニ立タス。殊ニ其ノ後加ヘル共匪ニ至リテハ多ク糧食ノ分前ニ與ラス且自ラ耕作スルコトモ出來サル浮浪無頼ノ徒輩ナリ故ニ共匪到ル處田畑悉ク荒果テ今ヤ銃砲ニ死セストモ亦自ラ飢饉ニ死セムトスル狀況ナリ。

B. 黨内ノ分裂

共匪ノ出版ニ係ル「戰鬥」ナル一冊子アリ。這ハ中國共產黨蘇維埃區域中央局機關報ナルカ其第一及第二號ヲ見ハ所謂「A B團」「國際コース」「李立三コース」「陳獨秀派」及福建ノ「社會民主黨」「湘(湖南)鄂(湖北)ノ硬壯會」北極會並ニ各ソノテト區ノ「改組派」「取消派」等アリ最

近ニ羅章龍ノ右派（同報ニ依リ江西A B團等第一黨
タリ）出現シテ各派互ニ犬猿ノ間柄ニ在ルヲ知ル。

更ニ同報ハ（）部黨員ト甘軍ノ一部隊伍トハA B
團ニ欺瞞、誘惑セラレ居レリ。紅軍甘軍一部暴動
紅軍學校、武装被解除、A B團ノ勢力下ニ在ル省執
行委員、被釋放、中央特派員易作士、被逮捕及打
倒毛澤東、擁護（朱德）彭（德懷）黃（公略）等ノ口
號、提出セシメ、等ハ彼等カ黨及紅軍ノ隊伍ヲ消滅
シメト企圖シ。南京政府ヲ幫助シテ紅軍及等干
下運動ヲ消滅セシメトスルモノナリ。

ト説キ居レリ

今ヤ紅軍中戦闘ニ堪ヘ得ル部隊極メテ寡シタルヲ加ヘ斯

如ク黨内分裂ノ実情ナルカ故ニ其匪ハ自ラ亡ヒザラント
欲スルモ亦不可能ナリ。

○第三、致命傷ハ

一彼等所謂第三次戦争後江西攻略ニ失敗シタルコト

二群众領導ニ失敗シタルコト

三意氣消沈セルコト

即チ是ナリ

次ニ曩ニ蒋介石派遣ノ剿共部隊カ失敗シタル原因ヲ考察スルニ次
如シ

一軍費不渡ニ因ル兵變

現ニ其匪カ第五軍團ニ改編セラルスル舊孫連仲部ハ即チ是カ

爲テ其匪ニ投降セルモノナリ

二 共匪煽動ニ因ル軍心離散

張輝瓚師カ敗レタル其ノ一兵士カ紅軍ヨリ銀五十元美女一名ニテ釣ラレ全兵士ヲ勧誘シタルニ因ル

三 聯絡ノ不行届

一部隊カ進撃手スルモ他ノ部隊之ヲ救援セサル爲メ共匪ニ各個撃破ノ機會ヲ與ヘタリ

最後ニ龍廻郷(龍廻墟ヲ中心ニ村落百廿マリ)共禍被虐慘狀ヲ述レハ次ノ如シ

龍廻郷ノ龍廻墟ハ十九年四月朱徳ノ率ユル紅軍ニ占領セラレテ以來廿二軍(陳毅)廿五軍(鄧毅剛)相次テ來襲シタルモ何モ滞在四五日ニ止リ他地向ヘリ紅軍ハ其ノ到ル處直ニ該地方人民ト共ニ暴動ヲ起シ革命委

員會ヲ組織ス。龍廻墟ニ於テモ十九年五月同委員
 ヲ組織シ五月ソゾエト政府ニ隸屬セシメ居タルカ七月
 中央軍ノ進撃手ニ遇ヒテ之ヲ信豊ノ紋源坑ニ移シ後中
 央軍ノ退去ト共ニ捲土重来十二月函官軍ニ驅逐セ
 ラレタル爲ニ遂ニ龍廻墟ヲ退出シ紋源坑ニ立籠レリ
 廿年二月中央カ六十八團ヲ派遣スル共匪ハ潰散シ十月
 同團ノ撤退ト共ニ再ニ聚合シテ信、康、雄、三區ソゾ
 エト政府ヲシテ知ルカ本年三月廣東軍ノ來攻ニ怯ヘテ
 又々山中ニ逃入セリ。

十九年四月ヨリ本年三月迄ノ間該郷ニ於テ共匪慘
 殺セラレタルモノ四百三十餘名、拉致セラレ身代金ヲ得
 メ虐殺セラレタルモノ三百六十餘名、燒失家屋三千七百餘戸

脅迫セラレテ匪ニ投降セシモノ五百二十餘名田地分配好
餌ニ釣ラレテ投降セルモノ百三十餘名ノ多キニ達シ十九年
四月迄一萬人ニ近カリシ同郷ノ人口モ今ヤ四千内外
ニ激減セリ

尙共匪ハ年收二百擔以上ノ大地所有者ヲ地主ト
シ銀二十元以上ノ所有者ヲ資本家ト見做シテ米カ
之ヲ沒收シテ慘殺ス。

(終)

報告送付先

馬要
海軍省、軍令部、佐鎮、
三艦隊、一遣、二遣、上海
南京、旅順、青島、漢口
北平、慶北、北工、二十五
二十七驅逐隊

軍務局

廣東警備旬報

第一四號

第一課長

局員

嵯峨艦長

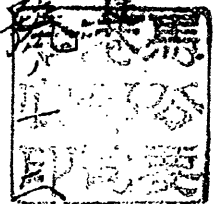
昭和七年四月二十一日廣東

嵯峨機密第二四號

五月四日進達

四月二十一日報告

訓官



五月拾日

軍務局受
7.5.12
月 日 時

馬要
7.5.3
受接

自昭和七年四月十一日
至今 四月二十日

報告
通報

馬要
海軍省 軍令部 佐鎮
三艦隊 一 遼 二 遼
上海 北平 南京 漢口
旅順 青島 台北 北
第二十五驅 第二十七驅

第一警備關係重要記事

重要記事

月 日 項

四二一

一 廣東空軍總司令張惠長北上、為廣東發最
大目的、孫科ト會見、為カ、

二 西南政務委員會第十五次常務會議ニ於テ、伍

朝樞、陳策、丘海雲、王奎、鄭道實ヲ瓊崖特別

區黨部籌備委員會委員ニ任命シ左記公會

組織辦法ヲ決議ス

(一) 籌備時期 四月中

(二) 組織 書記處、組織科、宣傳科、訓練科

(三) 任 務 甲 全特別區黨員、考查、及訓練事

宜ヲ辦理ス

	<p>乙 各縣党市ハ該會カ、派員指導、必要ヲ認メタル時ハ指導委員ヲ選派ス。</p> <p>丙 全特別區代表大會、開會及正式特別區党部、成立ヲ籌備ス。</p> <p>丁 籌備委員ヲ五名乃至七名トス。</p>
三	<p>一 新聞報不敬記事事件ニ関シ市長劉紀文陳謝、爲メ我總領事ヲ來訪ス。</p> <p>二 贛州ニ廣東剿匪軍行營ヲ設置シ、第一軍第一師長李振球ヲ行營主任ニ任ス。</p>
三	<p>一 中央委員兼工高部長孔祥熙、香港着(未廣スルヲナク七百香港發北返ス)</p> <p>二 昨年第四集團軍ニ改編セラレシ嵩雲南軍胡若愚、部隊(目下百色方面ニ駐防)本日胡ヲ師長トスル</p>

<p>獨立第五師ニ新編セラレタリト(新聞報)</p>	<p>一四一 國民政府、廣東省ニ對スル經濟的援助ニ関シ 商議ノ為メ豫テ北上中ナリシ財政廳長馮祝萬 本日香港着(十六日廣東報着)</p> <p>馮ノ談ニヨレハ(新聞報)國民政府ヨリ三月ヨリ毎月 軍費五十五萬元ヲ廣東省ニ對シ補助スルコトト ナレリト言フ</p>	<p>一五一 三千万元廣東省國防要案公債本日ヨリ發行 ニ支那當局ハ不敬記事ニ関スル我方ノ要求ヲ容 易ニ履行スル模様ナキヲ以テ先方ノ迅速ナル履 行ヲ強調セル公文書(十四日附)ヲ劉市長ニ交付セリ</p>	<p>八一 本年一月第一集團軍二月俸一二〇〇元ニテ備ハレシ</p>
----------------------------	--	---	-----------------------------------

軍事顧問 Thomas H. Lawrence (ニュージーランド人) 友人ニ

シテ英國ノ退役飛行將校 John Alexander Pugh (

濠州人)ナル者本日我總領事ヲ訪ヒ牒報者

ニ備ハレ度シト申出タルカ。當日令人、廣東空軍

ニ関スル談話要旨左ノ如シ、

一、目下廣東六十九台ノ航空機アルモ殆ント全部

中古ヲ買込ミシモノニシテ最近米國ヨリ買込ミシ

ニ台々時速二五〇哩ヲ出ス。外他ハ約六〇哩ノ時

速ヲ出レ得ルニ過キヌ

二、目下米國ガークスリット飛行機會社社長「マッカーヂ

香港ニアリテ廣東空軍ニ飛行機賣付方奔

足中ナリ、

三、自分ハ英國品タル Bristol 機(時速二五〇哩)

	元	二
<p>二一新聞報不敬記事ニ因シ本日午後伍秘書 總領事ヲ來訪シ市長謝罪公文書ヲ持參呈 出齊</p>	<p>一瓊崖特別區辦公署、成立遷々トシテ進展セス 又長官タル伍朝樞、海南島行容易實現ノ 模様ナキ折柄本日、廣東香港、各新聞ハ 一齊ニ右、最大理由トシテ既ニ西南政務委員會 ニテ決議済ナル五十萬元ノ開發費カ支給サレサルニ 依ル旨ヲ伍、談話トシテ掲載シオレリ</p>	<p>鄧青陽西南政務委員會委員ニ就職ス 為メ買ヒシブリオレリ ヲ推奨シオルモ本機カ普通機、三倍、高値ナル</p>

我要求ヲ完全ニ履行セリトハ言ヒ難ク、不満ノ点
アルモ尤ニ角事實上我要求事項ヲ容レタルヲ以テ
之ヲ容認シ之ニテ本件解決ノ事トセリ、
(詳細ハ嵯峨情報第三號ノニ新聞報不敬記事
事件経過概要参照)

海大臣

副官

四月二十八日進達

官部公印

中

四月十五日報告

嶺南

嶺南情報

第二一號

西

昭和七年四月十七日 廣東

小林

五月

軍務局受 7.5.12 月 日

馬要 7.4.28 受

軍務局

賞

第一課長

天

局員

天

嶺南艦長

◎事件。南支

新聞報不敬記事事件經過概要

(其ノ一)

報告 通報

馬要
海軍省、軍令部、佐鎮
三艦隊、一遣、二遣
上海、北平、南京、漢口
旅順、青島、台北、北平
第二十五艦、第二十七艦

内容目次

- 一、不敬記事、内容ト解決要求事項
- 二、不敬記事出所ニ關シテ觀察
- 三、英米總領事、本件ニ對シテ態度
- 四、四月十七日迄、經過概要
 - (一) 伍秘書ノ來訪
 - (二) 本件關係新聞記事ノ禁示
 - (三) 新聞報ノ停刊
 - (四) 劉市長ノ來訪陳謝
 - (五) 公文書ノ交付

五、所見

一、不敬記事内容上解決要求事項

四月六日漢字紙「新聞報」二日倭皇室、醜刺ト題シ左記
要旨不屈極ニ虚構ノ不敬記事掲載セラル

日倭民族ノ風俗習慣ハ細民的ニシテ皇族民衆皆然
リ民國十五年大正天皇御ヲ患ハマ花柳病ニ起因ストナシ
迷信ヨリ之色鬼ノ禁トシ五千ノ美貌女學生ヲ宮中ニ入
レ色相伏地祈願セシメ色鬼ニ亨樂セシム云々斯ノ如ク奇
々怪々ノ行爲ヲナス民族ハ我等何ゾ恐ルニ足ラシヤ

註一右原文附録第一參照

二新聞報、社長兼主筆李家英（元廣東省党
部執行委員兼第八路總指揮部參議）

民國廿年七月十一日發刊、日刊八頁發行部
數約五千アリシモ現在ハ約千以下ト稱セラレ

曩^元陳銘樞機關紙トシテ省政府ヨリ月一千五
百^元補助ヲ受ケ居タル新聞報カ銘樞ノ離奇
ト共ニ經營困難ナルヲ以テ陳濟棠之ヲ~~林~~受ケ改名
シ第一集團軍機關紙トセルモノナリ

記者ニ學問關係ノモノタラシ就中中山大學
内職者最モ多シ

總領事ハ直ニ市長劉紀文ヲ訪問シ右記事ハ我皇室
並ニ民族ニ對スル古^今未曾有絶大ノ侮辱ナリトシ市長ノ取
締ヲ難詰シ且市長ニシテ速ニ左記口上書ヲ要求ヲ答ル
ニ於テハ帝國政府及日本臣民ノ激怒ヲ緩和スル勞ヲト
ルベキ旨申入レタリ

口上書

一市長ハ公文ヲ以テ陳謝ノ意ヲ表スル事

ニ新聞報ノ責任者処罰

三新聞報ハ謝罪文ヲ掲載スルコト

四右謝罪文掲載ノ上ハ同紙ニ對シ相當期間ノ停刊ヲ命ズ

市長ハ總領事ノ提示シタル新聞切抜ヨリ初メテ承知シタリト

テ頗ル恐縮シ解決ニ誠意ヲ以テ當ルベキモ本件ノ裏面ニハ

何等カノ策動アルヤモ思ハルニ件ヲ充分調木且シタキニ件ヲ

暫シ猶豫アリシ旨申出タリ

依リテ總領事ハ来週先方ヨリ解決ニ為メ来訪スベキ旨言

渡レ被レリ

ニ不敬記事出所ニ関スル觀察

ハ記事ノ文体ヨリ考察シ或ハ不逞鮮人ノ起案セルモノニテ

ラスヤトノ消息アリ

ニ新聞報社長兼主筆 李家英ハ李滄深ニ私淑シ

居リ最近陳清棠ノ勢力膨脹ニ心ヨクラス思ヒオル者ニ
シテ目下經營不振トナリ嘗テ五千ノ發行部數ヲ有
セシモノク千足ラスニ激減セル狀況ナルヲ以テ此際外交間
題ヲ惹起シ陳ノ勢カヲ傷ツルト共ニ名ヲ博セトス策
動ニ非ラスヤトノ風評モアリ

三前市長程天因々劉紀文追出策トシテ策動シ居ルニ
非スヤトノ觀測モアリ

要スル劉市長ノ言ニモアル如ク裏面ニ及動派ノ策動アリト
認メラル、矣ナシトセス

三英米總領事ノ本件ニ對スル態度

一六日我總領事ヲ來訪セン英總領事談要旨
本件ハ頗ル重大ナル事件ナルモ當地ニ於ケル日支兩國從
來ノ友交關係ニ鑑ミ十分慎重ナル態度ヲ採ラレ武力

等ヲ用テハ、事ナク穩便ナル手段ヲ以テ圓滿ナル解決ヲ
計ラル様切望ス

ニ七日我總領事ヲ來訪セル米總領事(在日勤務二十年日本
通)談要旨

本件、如キニ對シ日本人カ如何之ヲ重大視シ如何ニ激
日印スルカヲ十分諒知シ居ル次第ニテ實ニ遺憾至極ノ重
大事カ勃發セルモノト痛感スルモノナリ

右ノ談話ニ依リモ察セラレ、如ク英米共ニ本件成行ニ對シ
頗ル法意ヲ拂ヒ居リ特ニ英當局ハ本件ヲ機端トシテ第
ニ上海事件ノ勃發ヲスラ危惧シオリ且我總領事カ成ル
ヘク平和的解決ヲ圖ルヘキモ情勢ノ推移如何ニヨリテハ政府
ニ請訓ノ上強カナル手段ヲ採ルニ已ハラ得サルトアルヘシト言ハ
ルニ對シ兩總領事共充分ニ我方ノ態度ヲ諒トシテ歸レリ

ト云フ

四、四月十七日迄ノ経過概要

一、伍秘書来訪

四月廿日市政府秘書伍伯勝我總領事ヲ来訪シ
不敬問題ニ就テハ市長知ノ省政府ニ於テモ誠ニ恐縮
シ解決ニ関シ凝議シ居ルモ何カモ當方面 政局ノ直面
シラフアル事態ハ極メテデリケートニシテ要求事項ヲ緩和
スルニ非サレハ解決困難ナル狀況ニアリト談話アリ

ホ

之ニ對シ總領事ハ當方面日支關係ノ安定ヲ保フ為メアラ
ズル努力ヲ~~報~~シ来ル我方ノ誠意ヲ縷々繰返シタル後
要求事項ハ少シモ無理ナル点ナク此ノ位ノ事ハ市長ニ於テ
自發的ニ急速ニ処理シ然ルハキモト考思シオリ且斯ノ
如キ非禮極事事件ニ斯スル事ハ國際儀禮ノ常道ナリ

内政方面ノ御話アリタルモ結局貴方ノ無カシ表ハス
 ミニミテ我方ニ何等關係ナキ事ナリ

ト強ク申聞セタリ

尚市長ハ墓参念為メ御里ニ赴キ十日返還セリ
 本件關係新聞記事ノ禁止

山六日本件ニ關スル邦人通信員ノ内地向ケノ電報全部
 當地電信局ヨリ此種電報ハ打電シ兼ヌルトテ返却シ
 来リ右通信文中ニ「〇〇氷遣ノ模様」トノ記事モアリタル
 事トシ支那當局モ余程狼敗シアルカ如シ

四日本政府ニ於テモ事ノ極メテ重大ナルニ鑑ミ内地各
 新聞ノ勿論海外各地ニ對シテモ本件ノ新聞記事
 掲載ヲ禁スル方針ヲトリ十日右漏レテテ手配済ミ
 旨當地總領事館宛來電アリ幸今日迄各地部
 七

外ニ於テ何等ノ反響ヲ認メス

三新聞報ノ停刊

新聞報「謝罪文」ヲ掲載スルニテナク十日ヨリ停刊ス

當地「ロイタル」通信員ノ談ニヨリ新聞社自發的ニ停刊

セルモノナリトイフモ後述市長來訪ノ際新聞停刊ニ就テ

ハ委員見ノ推量ニ任スト聞シカセシ点ヨリ考察シ市政存ヨリ

相當嚴重ナル内命ヲ發セリトモ考察セラルス或ハ言論

機關ノ官憲攻撃ヲ懼レ相當額ノ金ヲ額ラシテ該社ヲ懷

柔自發的ニ停刊セシカ如ク取計ニ非スヤトモ觀察セラル

本項ニ関シ九日香港漢字紙大光報ハ「廣州長距離電話

消息」ト題シ左記記事ヲ掲ケオレリ

沙面日領署照會市政府認廣州新聞報

六日紀載日皇近事、實有侮辱帝國元首請

劉市長懲戒該報、勒令停版、劉市長當即令
該報自十日起、自動停版、該報刊出停版啓事
云、本報因營業關係、自十日起、暫行停版、

口上書ニ於テモ相當期間停刊ヲ要求シ居リ該社亦
右記事ノ如ク暫日^停刊スル旨ヲ報シオルヲ以テ何時而刊
ヲ見ルモ計ラレサルモ或ハ新聞名ヲ喪ハ遠クラス登刊
ヲ見ル非ラスヤト觀察ス向キ多シ

尚本件ニ関シ當方面諸新聞ハ一切口ヲ嵌ニオリ右大光報
ノ記事以外殆ト關係記事ヲ掲ケタルモノナシ

四、劉市長ノ來訪陳謝

十日市長劉紀文伍秘書同伴我總領事兼訪シ
既ニ新聞モ停刊シアルヲ以テ口上書第一項以下全部解
決セリト看做シ度ト懇願シ口上書第一項ニ就テハ何レ

紀念圖ニ於テ要路トモ熟議ノ上速ニ申出ニ副フヘシ
ト談レルヲ以テ總領事ハ

新聞ノ停刊トモ三項トモ全ク別個ノ性質ニテ停刊ヲ以
テ兩項モ併セ解決セラレタリトハ決シテ速断シ難故ニ
速ニ該社ノ市長ニ對スル謝罪文ヲ本官ニ送附スルト共ニ
責任者ヲ嚴重ニ処罰シテ之ヲ本官ニ通報スヘキナリ
本件ノ如キ重大事件ニ對スル口上書ノ要求ハ貴官ト本
官トノ極メラ密接ナル交友關係ヲ諒トセル最低限度ノ
要求ナリ貴官カ有カナル日本通ニシテ且ソ昨年渡日シ
テ親シク日本ヲ觀察シ來リ日本人ガカル事件ニ對シ
如何ナル感情ヲ以テ臨ムヤヲ承知居ラル、貴官トシテ
此点十分了解アルモノト思考ス
本官ハ頗ル嚴重ナル政府ノ回訓ニモ拘ラス責任ヲ以テ

口上書ノ範圍内ニ迅速ニ負責徹シ期スル所存ナレハ只今ノ
貴官ノ申出如キ之ヲ政府ニ請訓シ得ルヲ助合ノモノニ
非ラス断シテ一步ニ讓ル能ハサル所ナリ貴官於テ若シ解
決ヲ遷延スルカ如キ事アラハ情勢ノ推移誠ニ憂慮ニ堪ハ
サルモノアラシ

ト嚴重ニ申渡セリ

五公文書ノ交附

四月十二日午前ニ至ルモ市長ヨリ何等ノ通報ニ接セザリシヲ
以テ今日午後館造市長ノ誠意アル如ク置テ強請スル
旨ノ公文書(附録第三ヲ送件ニ目下先方ノ出様ヲ待ツ
ツアリ

五、所見

前述ノ如ク本件ニハ相當複雑ナル裏面關係アリト觀察

セラレノミナラス從來我對市政府重要~~案件~~^{案件}ノ交渉ニ際シ
 前市長程天固時代ニ引續キ市長ノ片腕トシテ秘策ヲ
 繞ラシツアル國權回復論者ノ白眉タル秘書伍伯勝ク
 本件ヲ「スモートルマツター」ニ過キストシテ簡單ニ取扱ハントスル点
 其他~~事件~~後ニ於ケル劉市長ノ言動等ヨリ考察シ支那側
 ハ陽ニ事情ノ調査並ニ對新聞社トノ交渉等ニ藉コシテ
 尚相當遷延スルニ非スマト掛念セラル
 又一方上海ニ於ケル停戰會議成行如何ニヨリ漸ク緩和
 シ来タルニ當地ノ及日感情又激成セラルニ非ラスヤト思ハル
 節モアル折柄若シ市當局々校方ニ於テ今日迄當地ノ安寧
 秩序維持爲メ隱忍ニ隱忍ヲ重ネテ圓滿交渉シ来タル
 我誠意ヲ認ムルトナク思ニ慎レテ之ヲ遷延シ決然速ニ誠
 意アル解決ヲ講セリル場合ニ於テモ或種ノ威嚇ヲ行ヒ

我決意ヲ示ス要アラン
 勿論軍務電ニモアル通リ此際我官民ノ輕率妄動スル時
 ハ却ツテ彼等ノ術中ニ陥リ利用セラレル虞レナシトセス且又我
 國現下ノ對支及國際關係ヲスルモ南支方面ニ於ケル
 紛擾事件ヲ如何ニ避ケ度キ状況ニアラキ以テ本件ノ処置
 ニ伴テハ差當外交渉ニヨリ解決ヲ計リ過早ニ示威威嚇等ノ
 手段ニ出スルコトナク慎重事能心ノ推移ヲ見ルヲ穩當ナリト
 思考セラル然レ共上海事變ノ真因及和平會議停頓
 目下狀態カ殆ト及動氷ノ策動ニ起因スト觀測セララル
 今日ニ於テ或種示威ヲナス事ハ支那當局者ヨリシテ真劍
 ニ當地及動派ノ取締彈圧ヲ勵行スルノ必要ヲ自覺セ
 レメ且上海事件ノ真相ヲ略知シ表意ニ民衆ニ對シテハ
 輕率ニ及動氷ノ術中ニ卷キ込マサル様敬言戒セシムル敬言
 一三

鐘トモナルト思ル次第ナリ

之ヲ要スルニ口上書中最困難ト目セラレシ「新聞報」ノ停刊
 カ幸既々實現セシ今日事件解決見エタリトスルモ一方又
 前途ノ如ク新聞報ノ停刊ヲ以テ爾余ノ要項ヲ抹殺セン
 トシ本件ヲ有耶無耶ニ葬ラントスル態度ニ出デソフアレ
 シテ今後公成行ヲ靜觀シ緩急宜敷ヲ得タル對策ノ考
 究ニ萬遺算ナカラシ事ヲ期スル必要アリ

尚文明國間ノ國際關係ニ於テ特ニ特種ノ國体ニ我國ニ
 トリ古今未曾有ノ不敬事件タル本件ノ詳細ヲ世
 界ノ輿論ニ問ヒ以テ我國ノ對支外交ヲ層一層正義
 化シ日支問題ノ解決上ノ重大資料トスルト共ニ又一方ニ
 於テ列強ニ支那官憲ノ取締カ如何ニ無力ナルカヲ紹
 介シ支那トハ何ゾマシノ一大疑問ヲ強ク喚起セシメ其ノ對

0350

支認識、確立ヲ招来セシムル好個ノ資料トシテ提供
スル事ハ最モ緊要ナル事項ナリト認ム

一五

六

附錄第一

日倭皇室の醜劇

（大正倭皇生花柳
五千女生爲鬼妓）

日倭民族風俗習慣、無不現出其小象種的狀況。民間固不待言、即皇家亦然也。民國十五年間、日倭大正天皇患癆病最烈時、醫學者欲研究倭皇得癆由、結果發覺乃生花柳而起。然倭皇日如深宮、其花柳何由發生、確令人費解。其宮庭之穢德豈可免乎、而日倭貴族又有一種迷信、謂凡天皇得劇病、皆因天上色鬼爲之作祟。故於是年十一月間、政府挑選五千名美貌女學生、到宮中色相伏地祈禱、求

色鬼勿擾天皇身體、其用意乃以五千美女享諸色鬼、天皇自可占勿藥、此種愚弄女性之行為、竟發生於學界、大抵日倭婦女近年因受軍國主義之愛國教育、而至此卑鄙行為為榮譽也。至是年十一月廿五日午前二時大正倭皇即登鬼錄、五千女學生之色相祈禱、遂歸於烏有、學界通人對此事憤極、對侮辱女性曾有^激擊、某著名週刊曾大登特登「天鬼不愛女色何」的大文章、指搗政府之迷信惡俗、痛罵女學為皇宮鬼妓、可謂爽快之極了、總之、日倭民族不論在那方面、都是現出一種小家種、古古怪怪的行爲、這樣的民族我們怕他嗎、

全右直訳

日倭民族ノ風俗習慣ハ其ノ細民的(支那語ニハ
 家子……)微賤ノ家……ナル言葉アリ)状態ヲ現
 出セサル如クシテ民間ハ固ヨリ言フニ及ハス即チ皇家モ亦
 然リ、民國十五年間日倭大正天皇肺病ヲ患ヒ病
 最昂セル時、醫學者ハ倭皇病ヲ得ルノ原因ヲ研究
 セムト欲シ、其ノ結果即チ花柳病ニ起因セル事發覺
 セリ、然ルニ倭皇ハ毎日深宮ニ居リ、其ノ花柳病カ何ニ由
 リ發生セシカハ確ニ人ニ不審ヲ抱カシム、其ノ宮庭ノ穢德
 豈免ヘケンヤ而シテ日倭貴族ニ又一種ノ迷信アリ、曰ク天
 皇ノ劇病ヲ得シルハ皆天上色鬼ノ祟ヲ作セルニ因ルト、
 故ニ是年十月間政府ハ五千名ノ美貌女學生ヲ選
 ヒテ宮中ニ到リ、色相伏地祈禱シテ色鬼ニ天皇貴

体ヲ擾ス勿レト求メシム其用意ハ即チ五千ノ美女
 ラ以テ諸色鬼ヲ亨樂セシメ天皇ノ病ヲ藥ヲ用ヒスニテ
 癒セトスルニアリ此種ノ女性ヲ愚弄スルノ行爲ハ竟ニ
 學界ニ發生シ日倭ノ婦女ハ概ネ近年軍國主義ノ
 愛國教育ヲ受ケタルニ因リ此ノ卑鄙ノ行爲ヲ以テ榮
 譽トニスニ至レリ是年十二月二十五日午前二時大正倭
 皇即チ鬼録ニ登ルヤ五千ノ女學生ノ色相祈禱ハ
 遂ニ鳥有ニ取リテ學界ノ通人ハ此事ニ對シ憤怒ノ
 極ニ女性ノ侮辱ニ對シ曾テ攻撃手セシ所アリキ某著
 名ノ週刊ハ「天鬼不愛女色何」ノ大文章ヲ特筆文書
 シ政府迷信惡俗ヲ指摘シ女學生カ皇宮ノ鬼妓ト
 ナリシヲ痛罵セリ爽快ノ極ト謂フヘキナリ之ヲ要スルニ
 日倭民族ハ如何ナル方面タルヲ論セスズヘテ一種ノ細

民的奇々怪々ノ行爲ヲ現出スガハ民族ヲ我等ハ何

ソ相レムヤ

附録第二

昭和七年四月十五日總領事ヨリ市長劉紀文ニ
交附セル公文書寫(支那語訳文略)

新聞不敬事件ニ関スル件

一 梓啓陳者四月六日當地發刊「新聞報」ハ日倭皇
室ノ醜劇ト題シ大正天皇ニ對シ國際間ニ於テ古今未
曾有ノ暴戾ナル言辭ヲ弄シ不佞至極ナル捏造記事
ヲ掲載シ居ル也右ハ

一 帝ニ國際法上認めラレ居ル元首ノ尊嚴及榮譽ヲ
侵害スルノミナラス其ノ内容ノ荒唐無稽非禮野蠻
ナル文明國間ニ於テ未ダ曾ソラ見サル所ニシテ、